

2019年度 幸福の科学学園関西中学校・高等学校 学校評価

本年度の学校目標

- ・「高貴なる義務」を果たす、「徳ある英才」を育てる。
- ・宗教教育によって、神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った人材を育てる。
- ・規則正しい生活習慣と学習習慣の確立により、学力向上を目指す。

	領域	重点評価項目	教職員	生徒	学校関係者	総合評価	備考
1	学校経営	学校では、宗教教育を基に神仏を尊ぶ心を培い、感謝報恩の心を持った「高貴なる義務」を果たす人材づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、学習活動、学校行事、部活動などで特色のある教育活動が行われている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
2	学習指導	カリキュラムは、生徒の学力・個性を伸ばし、将来の希望を実現するように工夫されている。	B	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の学び意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、授業の中で教材や教え方に様々な工夫をし、学習する内容をていねいに指導している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、より高いレベルを目指す生徒へ配慮した教科指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている。	B	B	A	B	教職員・生徒・学校関係者
3	生徒指導	学校は、宗教科の授業などで、仏法真理に基づいて、善悪の判断や他人を思いやる心を育てている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の自立・自律する気持ちを大切に生活指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、適切な人権教育を行い、人権が尊重される学校づくりに努めている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に対して、挨拶・服装・遅刻などの基本的な生活習慣の確立に関する指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校では、生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
4	進路指導	学校は、生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に必要な進路情報や資料を収集し、適切に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒に大学進学に向けた実力養成の機会(講習・模試など)を十分に提供している。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、あなたの文系理系の選択や科目の選択について十分に指導を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
5	特別活動等	体育祭や文化祭(翔龍祭)など、生徒にとって有意義な学校行事を行っている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校の部活動は、顧問の指導の下、活発で有意義な活動になっている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒会活動や各種委員会活動の活性化を図り、学校生活をよりよいものになっている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
6	保健・安全管理	学校は、交通安全・防災・健康教育に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、生徒の安全や健康管理に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、環境美化に積極的に取り組んでいる。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
7	教育環境	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	A	A	A	A	教職員・生徒・学校関係者
		学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている。	A	B	A	A	教職員・生徒・学校関係者
8	事務・管理	学校は、教育活動に必要な備品、消耗品についての整備をしている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、個人情報の管理を含め、適切な文書管理を行っている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
9	保護者・地域との連携	学校は、地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源を活用し、地域に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、保護者の意見を聴き、積極的に保護者会活動を推進している。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、さまざまな機会を通して、地域との連携を深めるように努めている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者
		学校は、文書やメール、ホームページなどによって、学校の情報を保護者や地域の人々に適切に伝えている。	A	—	A	A	教職員・学校関係者

2019年11月18日(月)～2019年12月20日(金) 教職員、生徒、学校関係者にアンケート形式で実施

評価表の見方 本年度の教育活動に対する総合評価をABCDEFの6段階評価で示す

・評価者は教職員・生徒・学校関係者の3者を原則とするが、一部、3者によらない例外も設定されている。

・ABCDEFの基準は、アンケートを集約した結果、肯定的な評価(85%以上)=A、(85%未満～70%以上)=B、(70%未満～55%)=C、(55%未満～40%)=D、(40%未満～25%)=E、(25%未満～)=Fとする。

## 2019年度 学校評価に対する分析・総括および保護者の皆様のご意見に対するご回答

2019年度の学校評価（自己評価・学校関係者評価）に対する分析と総括をさせていただきます。また、学校評価アンケートにおいて、保護者の皆様から様々なご意見・ご要望をいただきましたので、特にご意見の多かった項目をご回答させていただきます。

### 【分析・総括】

2019年度は全体を通じて、概ね肯定的な評価となりましたが、更なる学園の改善のために教職員自身の自己変革を図ると共に、保護者の皆様や地域の関係者と連携しながら教育活動の充実に努めてまいります。

評価がBだった項目は、「学校は、学習の遅れがちな生徒へも配慮した教科指導を行っている」で、昨年と同様でした。対策に関しては、「ご意見・ご要望」の欄に記載しましたので、ご覧ください。

また、生徒のアンケートでは、「学校は、図書館の整備と充実に取り組み、図書室の利用を生徒にうながしている」がB評価でした。図書館の蔵書がまだ少ないことや、生徒に対する図書館利用の発信が十分でないことが考えられます。今後、図書委員会の生徒達と共に、魅力的な図書館づくりに尽力してまいります。

### 【ご意見・ご要望】

○ 勉強の仕方は個人に任せられているとは思いますが、模試の成績が上がらず、子供の学力が伸び悩んでいると感じます。学力向上に向けてどのような対策を考えていますか。

⇒ 勉強の仕方については、各教科で教材の研究や教員の経験を踏まえ、授業中や生徒との面談、質問対応などの際にしっかりと指導するようにいたします。特に高校では、大学受験を見据え、進路面談等をする際に、目標に向かって計画的に勉強ができるようにアドバイスしてまいります。中学では学力が伸び悩んでいる生徒向けに、放課後週2回の補習をしています。その中でも勉強の仕方についても指導してまいります。今後も学力向上に向けて、教員自身の授業力アップと生徒一人ひとりに対する丁寧な指導を行ってまいります。

○寮生活なので仕方なくスマホを持たせましたが、心配しています。最近、成績も落ちてきたのでスマホが原因ではないかと思っています。寮ではどのように対応されていますか。

⇒ 携帯電話・スマホがなくても寮生活に支障はありませんが、どうしても持ち込みたい場合は寮のルールに従って使用させています。中学生に関しては、自己管理がまだ十分ではありませんので、寮での自由時間以外には寮受付で預かっています。高校生に関しては自己管理に任せていますが、夜遅くまで使っている場合等は注意しています。また、学校では入学時および年2回程度、スマホに関する研修を行い、正しい使い方と危険性を教えています。保護者の皆様には、ぜひ、お子様と話しあっていただき、家庭としての使用ルールを作り、ご指導いただければと思います。

○学校の様子や寮生活の様子がよくわからないので、もっと教えてください。

⇒ホームページ、学級通信、寮通信、保健室便り等で学校行事や寮での様子を発信しておりますので、ご覧ください。今後も内容の充実に努めてまいります。また、担任や寮職員から、お子様の様子を小まめに伝えるように心がけていますが、まだまだ十分ではありませんので、さらに徹底してまいりますので、宜しくお願い致します。

以上